

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 大

上場会社名 日本ライフライン株式会社

コード番号 7575 URL <http://www.jll.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 政次 浩二

TEL 03-6711-5200

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,813	△6.6	249	△62.3	246	△61.8	218	△47.1
24年3月期第2四半期	11,573	5.3	662	21.7	646	3.3	413	26.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 190百万円 (△47.5%) 24年3月期第2四半期 362百万円 (13.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	20.22	—
24年3月期第2四半期	38.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	25,376	14,987	59.1
24年3月期	26,230	15,067	57.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 14,987百万円 24年3月期 15,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,096	△0.2	923	△19.6	920	△23.2	526	△26.9	48.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	11,302,497 株	24年3月期	11,302,497 株
25年3月期2Q	500,506 株	24年3月期	500,473 株
25年3月期2Q	10,802,002 株	24年3月期2Q	10,802,035 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	7
4. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	14
(5) セグメント情報等	14
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
(7) 重要な後発事象	14
5. 補足情報	15
(1) 生産、受注及び販売の状況	15
(2) 四半期連結損益計算書関係注記	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(売上高について)

当第2四半期連結累計期間の当社グループにおきましては、本年4月の保険償還価格の改定により、当社取扱商品の大部分で単価が引き下げられたことから、販売数量の増大に取り組んでまいりました。自社製品を取り扱うEP/アブレーションをはじめとして、全般的に販売数量は前年同期に比べて増加いたしましたものの、保険償還価格引き下げの影響を吸収するまでには至らず、また、前期に一部商品の取り扱いを終了したことも影響し、売上高は減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は108億1千3百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

品目別の販売状況は以下のとおりです。

<品目別売上高>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	増減率
リズムデバイス	5,370	4,737	△11.8%
EP/アブレーション	2,474	2,778	12.3%
外科関連	1,158	1,183	2.1%
インターベンション	1,860	1,392	△25.1%
その他	709	721	1.6%
合計	11,573	10,813	△6.6%

※各品目区分に分類される主たる商品は以下のとおりです。

リズムデバイス	心臓ペースメーカー、ICD（植込み型除細動器）、CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカー）
EP/アブレーション	EP（電気生理用）カテーテル、アブレーションカテーテル、心腔内除細動カテーテル
外科関連	人工血管、人工心臓弁、人工弁輪、人工心肺関連商品
インターベンション	バルーンカテーテル、ガイドワイヤー、血管内異物除去用カテーテル
その他	血液浄化関連商品

(リズムデバイス)

リズムデバイスにおきましては、主力である心臓ペースメーカーの販売数量は前年同期水準を維持いたしましたものの、保険償還価格の引き下げ率が13.8%と大幅であったことから、売上高は減少いたしました。

また、ICD（植込み型除細動器）及びCRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカー）は、今後の成長が見込まれる領域として注力いたしましたものの、参入企業による競争が厳しさを増しており、販売数量は微増に留まりました。

以上により、リズムデバイスの売上高は47億3千7百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

(EP/アブレーション)

EP/アブレーションにおきましては、心房細動の治療件数の増加に伴い市場が拡大傾向にあることから、「EPStar Libero(EPスター・リベロ)」などのEPカテーテルが引き続き伸長したほか、アブレーションカテーテルにおきましても、前年同期を上回る販売数量となりました。

さらに、当社のオンリーワン製品である心腔内除細動システム「SHOCK AT (ショック・AT)」の販売を本年9月より開始いたしました。本システムは専用カテーテル「BeeAT (ビート)」およびジェネレータ「SHOCK AT」から構成されており、アブレーション治療時に発生する心房細動に対し、従来よりも低侵襲に除細動を行なうことが可能です。本年10月より保険が適用されておりますことから、今後広く普及するものと見込んでおります。

以上により、EP/アブレーションの売上高は27億7千8百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

(外科関連)

人工弁関連におきましては、本年2月に発売した人工弁輪「MEMO 3D (メモ・3D)」が順調に販売数量を伸ばしました。その一方、人工弁による治療方法が、機械弁から生体弁へと移行しているなか、当社では機械弁のみの取り扱いであることから、販売数量は前年同期に比べて減少いたしました。当社におきましても生体弁の発売を本年12月に予定しており、早期のシェア拡大を目指してまいります。

人工血管におきましては、販売数量の増加により保険償還価格下落の影響を吸収し、売上高は概ね前年同期水準となりました。

以上により、外科関連の売上高は11億8千3百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

(インターベンション)

ガイドワイヤーにおきましては、当社独自の構造により操作性と耐久性を高めた新製品「ATHLETE JOKER (アスリート・ジョーカー)」が高い評価を得ており、販売数量は前年同期に比べ38.9%増加いたしました。

バルーンカテーテルにおきましては、「LIFESPEAR (ライフスピーア)」が、ハイプレッシャータイプの製品を中心に伸長いたしましたものの、保険償還価格の引き下げ率が20.9%と大幅であったことから、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

以上に加え、昨年12月に構造的な心疾患治療器具の販売を終了したことによる影響もあり、インターベンションの売上高は13億9千2百万円（前年同期比25.1%減）となりました。

(その他)

連結子会社において販売している血液浄化関連商品のその他の売上高は、7億2千1百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

(損益について)

①営業利益

保険償還価格引き下げの影響により販売価格が下落したことから、売上総利益率が前年同期に比べて0.7ポイント低下いたしました。また、販売費及び一般管理費におきましては、自社製品のさらなる成長を図るために、積極的な設備投資および研究開発を行っていることから、減価償却費および研究開発費が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における営業利益は2億4千9百万円（前年同期比62.3%減）となりました。

②経常利益

受取利息および受取配当金等を、営業外収益として4千2百万円計上した一方、支払利息および為替差損等を、営業外費用として4千5百万円計上した結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は2億4千6百万円（前年同期比61.8%減）となりました。

③四半期純利益

昨年12月のAGAメディカル社商品の独占販売契約終了に伴い、薬事申請中の同社商品に関する追跡調査業務等に係る対価を2億2千2百万円、さらに戸田ファクトリーおよびリサーチセンターに係る補助金を2千5百万円、特別利益として計上いたしました。その一方、投資有価証券評価損等を特別損失として5千5百万円計上したことにより、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益は2億1千8百万円（前年同期比47.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(連結貸借対照表に関する分析)

①資産

当第2四半期連結会計期間の資産につきましては、流動資産が前連結会計年度に比べ12億7千5百万円減少し、162億9千6百万円となりました。これは主として現金及び預金が9億5千7百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度に比べ4億2千1百万円増加し、90億7千9百万円となりました。これは主として有形固定資産が3億7千9百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度から8億5千4百万円減少し、253億7千6百万円となりました。

②負債

当第2四半期連結会計期間の負債につきましては、流動負債が前連結会計年度に比べ12億6千8百万円減少し、68億1千9百万円となりました。これは主として短期借入金が5億円、未払法人税等が3億3百万円減少したことによるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度に比べ4億9千4百万円増加し、35億6千8百万円となりました。これは主として長期借入金が3億5千1百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度から7億7千4百万円減少し、103億8千8百万円となりました。

③純資産

当第2四半期連結会計期間の純資産につきましては、前連結会計年度に比べ7千9百万円減少し、149億8千7百万円となりました。これは主として剰余金の配当を2億7千万円実施したこと、及び、四半期純利益を2億1千8百万円計上したことによるものであります。

(連結キャッシュ・フロー計算書に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度に比べ9億5千7百万円減少し、20億4千3百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて2億8百万円収入が減少し、2億8千3百万円の収入となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が前年同期に比べて4億3千5百万円減少した4億3千9百万円を計上したのに加え、たな卸資産の増減による支出が2億1千7百万円（前年同期は6千3百万円の収入）となった一方で、売上債権の増減による収入が3億6千9百万円（前年同期は3億1千1百万円の支出）となったことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて6億5千万円支出が減少し、7億8千5百万円の支出となりました。これは主として投資有価証券の取得による支出が4億6千2百万円減少して1百万円となったことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、4億5千5百万円の支出（前年同期は2億8千5百万円の収入）となりました。これは主として短期借入による収入が6億円減少して1億円、短期借入金の返済による支出が6億円（前年同期はなし）となった一方で、長期借入による収入が5億円（前年同期はなし）となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年4月27日に公表いたしました平成25年3月期第2四半期累計期間の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成24年10月29日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。なお、通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間に未執行であった販売費及び一般管理費予算の支出が第3四半期以降に見込まれることから現時点での変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

連結子会社は、法人税等の算定に当たり、税金等調整前四半期純利益に見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得したリース資産以外の有形固定資産(平成10年4月1日以降に取得した建物附属設備以外の建物を除く)については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4,206千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,594,722	1,637,572
受取手形及び売掛金	6,842,792	6,473,592
有価証券	405,384	405,534
たな卸資産	6,713,201	6,930,225
繰延税金資産	427,629	352,846
その他	592,765	501,634
貸倒引当金	△4,765	△4,706
流動資産合計	17,571,731	16,296,698
固定資産		
有形固定資産	4,222,753	4,602,041
無形固定資産		
のれん	3,068	—
その他	36,300	32,203
無形固定資産合計	39,368	32,203
投資その他の資産		
その他	4,403,674	4,452,803
貸倒引当金	△7,334	△7,584
投資その他の資産合計	4,396,339	4,445,218
固定資産合計	8,658,461	9,079,463
資産合計	26,230,193	25,376,162
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,454,368	1,401,825
短期借入金	3,870,000	3,370,000
1年内返済予定の長期借入金	312,000	304,500
未払金	885,996	615,577
未払法人税等	511,903	208,242
賞与引当金	30,847	31,830
その他	1,023,117	887,517
流動負債合計	8,088,231	6,819,494
固定負債		
長期借入金	587,000	938,500
長期未払金	576,836	576,836
退職給付引当金	1,357,348	1,411,666
役員退職慰労引当金	272,796	258,773
負ののれん	5,627	4,220
その他	274,995	378,943
固定負債合計	3,074,603	3,568,939
負債合計	11,162,834	10,388,433

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,241	2,115,241
資本剰余金	2,328,128	2,328,128
利益剰余金	10,996,940	10,945,264
自己株式	△351,492	△351,508
株主資本合計	15,088,817	15,037,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,458	△49,396
その他の包括利益累計額合計	△21,458	△49,396
純資産合計	15,067,358	14,987,728
負債純資産合計	26,230,193	25,376,162

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	11,573,134	10,813,114
売上原価	5,667,008	5,377,289
売上総利益	5,906,125	5,435,825
販売費及び一般管理費	5,243,309	5,185,875
営業利益	662,815	249,949
営業外収益		
受取利息	3,227	4,105
受取配当金	2,176	1,569
負ののれん償却額	1,406	1,406
その他	23,957	35,254
営業外収益合計	30,768	42,336
営業外費用		
支払利息	10,647	14,870
為替差損	27,095	26,783
デリバティブ評価損	8,840	—
その他	853	3,998
営業外費用合計	47,436	45,652
経常利益	646,147	246,633
特別利益		
固定資産売却益	390	—
薬事承認権譲渡益	244,590	—
薬事申請業務引継による受入金	—	222,990
補助金収入	—	25,493
特別利益合計	244,980	248,483
特別損失		
固定資産除却損	7,451	1,614
投資有価証券評価損	7,143	45,289
投資有価証券売却損	1,022	8,115
その他	450	250
特別損失合計	16,067	55,269
税金等調整前四半期純利益	875,060	439,847
法人税、住民税及び事業税	496,975	177,935
法人税等調整額	△35,068	43,537
法人税等合計	461,906	221,473
少数株主損益調整前四半期純利益	413,154	218,374
四半期純利益	413,154	218,374

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	413,154	218,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,290	△27,937
その他の包括利益合計	△50,290	△27,937
四半期包括利益	362,863	190,436
親会社株主に係る四半期包括利益	362,863	190,436

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	875,060	439,847
減価償却費	188,889	266,027
その他の償却額	74,505	73,219
負ののれん償却額	△1,406	△1,406
貸倒引当金の増減額(△は減少)	709	191
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,520	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	58,996	54,318
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,031	△14,023
受取利息及び受取配当金	△5,404	△5,675
薬事承認権譲渡益	△244,590	—
薬事申請業務引継による受入金	—	△222,990
補助金収入	—	△25,493
支払利息	10,647	14,870
有形固定資産除売却損益(△は益)	7,061	1,614
デリバティブ評価損益(△は益)	8,840	△5,120
投資有価証券評価損益(△は益)	7,143	45,289
投資有価証券売却損益(△は益)	1,022	8,115
売上債権の増減額(△は増加)	△311,471	369,200
たな卸資産の増減額(△は増加)	63,917	△217,023
仕入債務の増減額(△は減少)	9,448	△52,542
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,909	2,150
未払費用の増減額(△は減少)	32,011	△180,692
その他	△55,771	△53,215
小計	674,212	496,662
利息及び配当金の受取額	3,391	8,551
薬事承認譲渡による収入	244,590	—
薬事申請業務引継による収入	—	244,590
補助金の受取額	—	25,493
利息の支払額	△11,018	△15,086
法人税等の支払額	△418,882	△476,222
営業活動によるキャッシュ・フロー	492,292	283,988

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△427,273	△572,109
有形固定資産の売却による収入	3,703	210
投資有価証券の取得による支出	△463,845	△1,286
投資有価証券の売却による収入	21,745	48,697
関係会社株式の取得による支出	△77,490	—
短期貸付けによる支出	△25,251	△25,155
短期貸付金の回収による収入	—	25,251
長期貸付けによる支出	△356,940	△248,340
長期貸付金の回収による収入	14,616	12,518
長期前払費用の取得による支出	△113,107	△44,971
その他の支出	△22,614	△14,047
その他の収入	10,223	33,801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,436,234	△785,433
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	700,000	100,000
短期借入金の返済による支出	—	△600,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△81,000	△156,000
自己株式の取得による支出	△19	△16
リース債務の返済による支出	△10,516	△29,683
配当金の支払額	△322,600	△269,983
財務活動によるキャッシュ・フロー	285,863	△455,683
現金及び現金同等物に係る換算差額	△104	127
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△658,183	△957,001
現金及び現金同等物の期首残高	3,074,576	3,000,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,416,392	2,043,106

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社及び連結子会社の営む事業は医療用機器の製造及び販売業であり、また、すべての拠点は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものはありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
	金額	金額
EP/アブレーションカテーテル類	929,755	1,512,075
外科関連	214,376	198,393
インターベンション	116,541	203,360
その他	323,385	330,824
合計	1,584,059	2,244,654

②受注状況

当社グループの事業形態は、原則として受注残高が発生しないため、記載を省略しております。

③販売状況

当第2四半期連結累計期間における販売実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
	金額	金額
リズムデバイス	5,370,051	4,737,388
EP/アブレーション	2,474,310	2,778,268
外科関連	1,158,727	1,183,603
インターベンション	1,860,266	1,392,705
その他	709,778	721,148
合計	11,573,134	10,813,114

(2) 四半期連結損益計算書関係注記

当第2四半期連結累計期間の特別利益に計上されている「薬事申請業務引継による受入金」は、平成23年2月28日付でセント・ジュード・メディカル(株)及びAGA MEDICAL CORPORATION社と締結したAGA社製商品の取扱い終了に関する「TERMINATION, TRANSFER AND TRANSITION SERVICES AGREEMENT」(以下、「TTTSA」)に基づくものであり、薬事申請中のAGA社製商品に係る追跡調査業務等の対価として引継先であるセント・ジュード・メディカル(株)から受け入れたものであります。